

平成19年度9月補正予算の概要

1 予算規模等

今回の補正予算は、角野船木線改良事業等の公共事業をはじめ、老人保健福祉施設建設事業、砂防等関連河川整備事業、市民の森整備事業、道路緊急舗装等事業等の単独事業のほか、自主防災組織推進費、障害者自立支援特別対策事業費、こども夢未来基金積立金等の施策費及び別子山地区林業施設災害復旧費並びに経常経費について措置しています。

この結果一般会計では補正額3億675万6千円の増、補正後の予算総額は歳入歳出それぞれ413億8,574万2千円となり、対前年度同期比は、3億7,401万1千円、0.9%の増となっています。

また、特別会計では、

- (1) 公共下水道事業特別会計が、補正額627万1千円の増、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ59億6,507万6千円となり、対前年度同期比は、1億409万3千円、1.8%の増、
- (2) 介護保険事業特別会計が、補正額4,800万9千円の増、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ95億8,441万6千円となり、対前年度同期比は、5億2,698万7千円、5.8%の増となっています。

一般会計、特別会計合わせた補正額は、3億6,103万6千円の増、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ852億308万1千円となり、対前年度同期比は、4億8,572万9千円、0.6%の増となっています。

2 一般会計補正予算の主な事業

(1) 公共事業

角野船木線改良事業(建設部 道路課)

1 事業目的

主要地方道新居浜別子山線や、上部地区の主要幹線である上部東西線を結ぶ最短ルートである本路線の改良により、国道11号の慢性的渋滞緩和を図るとともに、地域住民の安全と生活、経済活動を支援する。

2 補正の内容

補正減

(単位：千円)

事業費		補正前	今回補正額	補正後
		57,200	28,250	28,950
財源内訳	国	28,050	15,950	12,100
	市債	27,600	12,500	15,100
	一財	1,550	200	1,750

国庫補助内示減に伴い工事費等を減額するとともに、補償交渉難航による補償物件の変更を行い補償費を追加する。

- (1) 工事費 33,700千円(127m 4m)
- (2) 公有財産購入費 6,130千円(592㎡ 158㎡)
- (3) 補償費 12,530千円(1件 2件)
- (4) 事務費 950千円

3 補正に係る財源内訳

- (1) 国 55%(15,950千円)
- (2) 合併特例債 95%(12,500千円)(交付税算入率70%)
- (3) 一財(200千円)

(2) 単独事業

老人保健福祉施設建設事業(福祉部 介護福祉課) (拡充)

1 事業目的

介護を必要とする高齢者が、住みなれた地域で安心して生活できるように、良質な介護サービス基盤の計画的な整備・充実を図る。

2 補正の内容 建設補助金の追加(交付金内示に伴う補正)

(単位:千円)

事業費		補正前	今回補正額	補正後
			15,995	185,000
財源内訳	国	0	185,000	185,000
	一財	15,995	0	15,995

(1)小規模多機能型居宅介護事業所整備事業(105,000千円)

高齢者保健福祉計画に基づき市内8か所に整備予定の地域密着型介護サービス事業所(小規模多機能型居宅介護)7か所分について予算措置する。

小規模多機能型居宅介護事業所:通いを中心に要介護者の状態や希望に応じて随時、訪問や泊まりを組み合わせ提供する在宅支援サービス。

(2)特別養護老人ホームユニット型個室整備事業(80,000千円)

豊園荘のユニット型個室整備事業が補助内示を得たことから予算措置する。

ユニット型個室:個室と共同生活スペースによって一体的に構成されるユニットを単位とする。1ユニットは概ね10人以下。プライバシーの確保と他の入居者との適度な交流とが両立され、ストレス減少などの効果が期待されている。

3 補正に係る財源内訳

(1)国 100%(地域介護・福祉空間整備交付金 105,000千円、先進的事業支援特例交付金 80,000千円)

砂防等関連河川整備事業(環境部 下水道建設課) (新規)

1 事業目的

砂防・治山事業の効果を高めるため、関連する水路工等を実施することにより、水環境の向上と安全で快適な市民生活を確保する。

2 補正の内容 工事費、委託料の追加

(単位:千円)

事業費		補正前	今回補正額	補正後
			0	26,241
財源内訳	市債	0	21,300	21,300
	一財	0	4,941	4,941

(1)工事費 18,000千円

・三杭谷川及び衣笠川

(2)委託料 8,241千円

・大谷排水路外3か所

3 補正に係る財源内訳

(1)市債(自然災害防止事業債)100%(21,300千円)(交付税算入率28.5%)

(2)一財(4,941千円)

市民の森整備事業（経済部 農林水産課）**1 事業目的**

森林に対する理解を深め、市民の健康と保養のために整備した市民の森の設備充実を図るため、老朽化によって撤去していた遊具を補充（新設）する。

2 補正の内容 工事費の追加

（単位：千円）

事業費		補正前	今回補正額	補正後
		0	3,000	3,000
財源内訳	寄附金	0	3,000	3,000

(1) 工事費 3,000千円

・木製遊具2基設置（ロープウェイ、冒険丸太渡り）

3 補正に係る財源内訳

(1) 寄附金（3,000千円）

道路緊急舗装等事業（建設部 道路課）**1 事業目的**

平成18年度に実施した道路の調査結果を基に、今年度から3年間の予定で、傷んだ市道の修繕工事や、再舗装工事等を実施し、市道の適正な維持管理に努める。

2 補正の内容 工事費の追加等

（単位：千円）

事業費		補正前	今回補正額	補正後
		240,000	60,000	300,000
財源内訳	市債	140,000	0	140,000
	一財	100,000	60,000	160,000

事業執行状況（7月末施工回付率70%）により、当初計画通り追加予算計上し、事業の適正な執行を図る。

(1) 工事費 80,000千円

・宮北通り線外14路線追加

(2) 委託料 20,000千円

・小規模舗装委託料減（周辺部一体施工による工事費増により工事費へ組替え）

容器資源化対策事業（環境部 ごみ減量課）**1 事業目的**

容器包装リサイクルの推進のため、分別収集された資源ごみ（びん、缶、プラスチック製容器包装等）の選別・圧縮等を行い、資源として有効利用できるように施設整備を行う。

2 補正の内容 委託料の追加

（単位：千円）

事業費		補正前	今回補正額	補正後
		0	12,233	12,233
財源内訳	一財	0	12,233	12,233

第5期新居浜市分別収集計画に基づく容器包装リサイクル推進のため、H20年度からその他プラスチック容器ライン等の施設整備に必要な実施設計及び生活環境影響調査委託料を追加する。

(1) 委託料 12,233千円（容器資源化施設実施設計委託料、生活環境影響調査委託料）

新居浜駅菊本線改良事業（建設部 道路課）**1 事業目的**

J R新居浜駅と北部市街地とを結ぶ南北幹線道路である本路線を、土地区画整理事業と連携して一体的に整備する。

2 補正の内容 工事費等の追加

(単位：千円)

事業費		補正前	今回補正額	補正後
			90,000	17,561
財源内訳	市債	81,000	15,800	96,800
	一財	9,000	1,761	10,761

本路線はH20年度未完了の計画であったが、工事費の精査によりH20年度事業費が少なくなったこと、また、区画整理事業区域内の同路線もH18年度末で完成していることから、早期完了による利便性の増進及び経済波及効果等を考慮して、H19年度中の完成を目指し、追加予算措置する。

(1)工事費 17,400千円
・補正前：260m 補正後：305m

(2)事務費(需用費) 161千円

3 補正に係る財源内訳

(1)市債(臨道特定)90%(15,800千円)(交付税算入率1/3) (2)一財(1,761千円)

単独事業は、これらの事業で、3億2,481万9千円の増となっています。

(3) 施策費**自主防災組織推進費（総務部 防災安全課）(拡充)****1 事業目的**

大規模災害発生時において重要な役割を担う自主防災組織の充実を図るため、優良モデルとなる組織活動の育成を支援し、自主防災組織全体のレベルアップを促進する。

2 補正の内容 備品購入費、報償費等の追加

(単位：千円)

事業費		補正前	今回補正額	補正後
			0	1,000
財源内訳	県	0	500	500
	一財	0	500	500

愛媛県自主防災組織育成モデル事業費補助金を活用し、地域の防災リーダーの養成と災害時要援護者避難支援プラン・防災マップの作成、防災訓練等を実施する。

(1)備品購入費 326千円

・防災訓練用機材等購入

(2)報償費 200千円

・地域防災リーダー育成研修講師謝礼

(3)役務費等 474千円

・災害時要援護者避難支援プラン調査用郵送費

・防災マップ印刷等

3 補正に係る財源内訳

(1)県1/2(500千円) (2)一財(500千円)

障害者自立支援特別対策事業費（福祉部 福祉課）

1 事業目的

障害者自立支援法施行に伴う激変緩和と新法への円滑な移行の促進のため、愛媛県障害者自立支援対策臨時特例基金を活用した特別対策事業を実施し、障害者及び障害児が自立した日常生活や社会生活を営むことができるように支援する。

2 補正の内容 工事費、備品購入費等の追加

（単位：千円）

事業費		補正前	今回補正額	補正後
			18,131	2,523
財源内訳	県	13,677	1,928	15,605
	一財	4,454	595	5,049

(1)工事費 1,595千円（補助率：県10/10、上限500千円×2か所）

・オストメイト対応トイレ整備

(2)備品購入費等 928千円（補助率：県10/10）

・視覚障害者等情報支援基盤整備（市役所、身障センター、総合福祉センターに拡大読書機・活字文書読み上げ機・音声コード作成ソフト・点字ラベルライターを設置）

3 補正に係る財源内訳

(1)県10/10(1,928千円)(2)一財(595千円)

こども夢未来基金積立金（教育委員会 社会教育課）

1 事業目的

新居浜市の子どもたちが、ふるさとに愛着を感じ、郷土に誇りを持つことができるような活動を支援し、子どもたちの成長を支援するための「新居浜市こども夢未来基金」へ積立を行う。

2 補正の内容 基金積立金の追加

（単位：千円）

事業費		補正前	今回補正額	補正後
			0	2,000
財源内訳	寄附金	0	2,000	2,000

(1)基金積立金 2,000千円

参考

- ・こども夢未来基による今年度実施予定事業
新居浜防災少年団リーダーづくり事業
新居浜子ども環境サミット開催事業
太平洋でくじらと出会う自然体験事業
別子銅山子ども探検隊事業

3 補正に係る財源内訳

(1)寄附金(2,000千円)

社会教育充実費（教育委員会 社会教育課）（拡充）

公民館いきいきプラン推進事業（1,400千円）

（放課後子ども教室推進事業）

1 事業目的

地域の教育力を結集し、様々な体験活動を子どもたちに提供することにより、社会全体で健全な子どもを育む。

2 補正の内容 委託料の追加

（単位：千円）

事業費		補正前	今回補正額	補正後
		5,275	1,400	6,675
財源内訳	県	0	1,400	1,400
	一財	5,275	0	5,275

H16年度からH18年度にかけて大生院公民館等で、国の委託事業として「地域子ども教室」を実施してきたが、委託事業がH18年度で終了。今年度は新居浜市単独事業として7か所で実施予定であった同事業について、6月県議会で愛媛県放課後子どもプラン推進事業補助金が計上されたことから、同事業を拡充して実施する。

(1)事業内容：料理教室、もの作り教室、スポーツ教室、キャンプ、清掃活動、勤労体験等

(2)実施団体：あそびじゅくトムソーヤ（大生院）、やんちゃクラブ（高津）、大好き泉川っ子教室、ボンデン広場（多喜浜）、小女郎たぬき踊り保存会こども教室（金子）、かるがもクラブ（金栄）、笑顔がいっぱい教室（全市、総合福祉センター） 計7か所

3 補正に係る財源内訳

(1)県 2/3 (1,400千円)

施策費は、これらの事業で、875万6千円の増となっています。

(4) 災害復旧費**別子山地区林業施設災害復旧費（経済部 別子山支所）****1 事業目的**

平成19年7月14日の台風4号及び8月2日の台風5号による災害の復旧。

2 補正の内容 工事費等の追加

（単位：千円）

事業費		補正前	今回補正額	補正後
		0	5,527	5,527
財源内訳	市債	0	400	400
	一財	0	5,127	5,127

(1)工事費 4,410千円

・保土野線

(2)需用費 846千円

・保土野線、大湯線

(3)委託料等 271千円

3 補正に係る財源内訳

(1)市債（単独）65%（400千円）（交付税算入率49.5%）

(2)一財（5,127千円）

3 事業を賄う財源（款別歳入）

（単位：千円）

款	補正前の額	今回補正額	補正後
市 税	18,832,000	221,500	19,053,500
地方特例交付金	173,000	52,788	120,212
地方交付税	3,220,000	134,598	3,085,402
国庫支出金	4,356,144	169,743	4,525,887
県支出金	2,233,783	7,539	2,241,322
寄 附 金	14,771	7,247	22,018
繰 入 金	1,630,069	13,702	1,616,367
繰 越 金	900,000	65,323	965,323
諸 収 入	1,769,660	992	1,770,652
市 債	4,187,200	35,500	4,222,700
計	41,078,986	306,756	41,385,742

4 特別会計の補正内容

（財源内訳は今回補正に係る財源のみ記載しています。）

（1）公共下水道事業特別会計

（単位：千円）

事業費		補正前	今回補正額	補正後
		5,958,805	6,271	5,965,076
財源内訳	繰入金	1,765,724	5,680	1,760,044
	財産収入	0	11,951	11,951

下水処理場改築工事により発生した不要物品の売却処分に伴う償還金の追加。
管理費（6,271千円、過年度支出金）

（2）介護保険事業特別会計

（単位：千円）

事業費		補正前	今回補正額	補正後
		9,536,407	48,009	9,584,416
財源内訳	支払基金			
	交付金	2,813,058	4,485	2,817,543
	繰越金	0	43,524	43,524

平成18年度事業の精算に伴う償還金及び基金積立金の追加。
諸支出金（24,426千円、償還金（介護給付費国庫負担金他））
基金積立金（23,583千円、介護給付費準備基金積立金）